

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年6月19日
明治大学の所属学部・研究科	文学部 文学科 英米文学専攻(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年5月19日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ニューヨーク州立大学バッファロー校 (日本語名) University at Buffalo State University of New York(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 /英語
留学期間	2022年8月～2023年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期:8 月下旬～12 月中旬 2 学期:1 月下旬～5 月中旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	32,099
創立年	1846

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	無し	円	
宿舍費	7590.66	1077873 円	1ドル 142 円として計算
食費	1300	184600 円	ダイニングポイントのみの場合
図書費	50	7100 円	
学用品費	30	4260 円	
携帯・インターネット費	500	71000 円	
現地交通費	484.5	68799 円	大学内シャトルバス代(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	4000	568000 円	
被服費	900	127800 円	
医療費	439	62338 円	留学先大学の health service fee というもの
保険費	2138.22	303627 円	形態: 留学先大学のもの
渡航旅費	2150	305300 円	
ビザ申請費	160	22720 円	
雑費	440	62480 円	
その他		円	
その他		円	
合計	20182.38	2865897 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 東京 目的地: バッファロー 経由地: シカゴ	
復路 出発地: バッファロー 目的地: 東京 経由地: ロサンゼルス	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: JAL 料金: 30 万	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴ 合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: JAL)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Elicot Complex) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 4)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学のサイト

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮を選んだ主な理由が「友人が作りやすそうだから」だったのですが、正直なところその面のメリットは特に感じませんでした。生活のしやすさや、衛生面、特に自炊をしたい人にはアパートメントをお勧めします。キャンパスに近くて部屋との行き来がしやすいことや、遅い時間までバスが運行していることは利点でした。また、ラウンジも勉強時や大人数でご飯を食べたり、映画を見たりする時に沢山活用しました。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

幸い、犯罪に巻き込まれたことはありませんでした。留学先は特別治安の悪い地域ではなかったため、夜に出かけた際は、すぐにウーバーに乗るなどすれば、危険は避けることができました。とても広いキャンパスでしたが、大学内は本当に安全だと感じました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内、寮内のインターネット環境は良好でした。2回ほど、接続が悪くなる日がありましたが、大きな問題になるほどではありませんでした。携帯電話は日本でアメスマを契約していったのですが、データ量も十分に快適に使うことができました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ほとんどクレジットカードを利用していました。現金が必要な際は、Wise銀行にインターネットで入金し、Wiseカードを使って、現地のATMでおろすという形をとっていました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

風邪薬、常備薬、コンタクト、洗濯ネット、歯ブラシなど。日本でいつも使っているものなどがある場合は、それらを持っていくことをお勧めします。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 未定 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Basic Video		
科目設置学部・研究科	Media Study	
履修期間	1 学期間	
単位数	4	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に100分が2回	
担当教授	Professor Joan Nobile	
授業内容	カメラの使い方、動画の編集方法などをレクチャー後、実践	
試験・課題など	課題は7つほど、小テストが3回ほどありました。課題は動画提出がほとんどでした	
感想を自由記入	動画作りの基本全般を学べる授業ということで、履修しましたが、初心者にとっては少し難しい授業でした。レクチャーの割合が少なく、とにかくやってみてという感じだったため、戸惑うことも多くありましたが、ショートムービー作りなど、なかなか経験できないこともできて最終的には取って良かったと思いました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Immigration and Film		移民と映画
科目設置学部・研究科	Media Study	
履修期間	一学期間	
単位数	4	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	レクチャー(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に140分が1回	
担当教授	Professor sarah jm Kolberg	
授業内容	アメリカに移り住むというストーリーがベースとなった映画を鑑賞し、レポートを提出。教授によるパワーポイントもあり。	
試験・課題など	五つの映画分析レポートと4つのクイズがありました。	
感想を自由記入	授業自体はシアターの教室で映画を鑑賞するというのがメインだったため、映画館のようで毎回楽しみでした。レポートも比較的自由的な内容だったため、書きやすかったように思います。ただ、クイズはしっかり勉強して行かないと少し厳しいといった難易度でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Media Study and Analysis		メディア研究・分析入門
科目設置学部・研究科	Media Study	
履修期間	一学期間	
単位数	4	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に100分が2回	
担当教授	Professor Christina Corfield	
授業内容	メディアに関する記事やエッセイを事前に読んでいき、授業内でそれについて話し合う	
試験・課題など	課題が10個ほど、また授業ポータルに計10個質問を載せることが必須でした	
感想を自由記入	とにかく reading が多くて予習が大変な授業でした。内容としては、写真や絵画、像など幅広く興味深いものでした。授業は教授のパワーポイントに合わせていくつか質問が投げかけられるといった形で、居心地の良い雰囲気でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Spoken English		話す英語
科目設置学部・研究科	English Language Institute	
履修期間	1 学期間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	レクチャー(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に80分が2回	
担当教授	Mr. Jon Meeder	
授業内容	英語のスピーキング力を高めるための授業	
試験・課題など	プレゼンが4回ほど、それに沿った課題がいくつかありました	
感想を自由記入	この授業を取っていた学生はみんな留学生だったため、コミュニケーションを取るのが難しいこともありましたが、大きなプレッシャーを感じることなく受けることができました。教授もとてもやさしく、授業内容も楽しかったです。ただ、正直なところ、日本でも受けられるような授業だなと感じたため、留学生だからという理由で履修を勧められても、無理に取らなくても良いかもしれないと思いました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Women in the Global System			
科目設置学部・研究科	Global gender and sexuality studies		
履修期間	1 semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Professor Soe Win		
授業内容	主に発展途上国の女性が抱える問題について学習		
試験・課題など	グループプレゼンが一つ、中間試験が一つ、リアペが三つ、最終レポートが一つ		
感想を自由記入	ニュースだけでは知ることのできない、human trafficking や深刻な gender violence について深く学ぶことができ、とてもためになる授業でした。心が痛くなる内容や、ドキュメンタリーに触れることもありましたが、知っておく必要があることだと強く感じたため、取得して良かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Novel		イギリス作家小説	
科目設置学部・研究科	English		
履修期間	1 semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Professor Sojung Yang		
授業内容	イギリス作家による有名小説を扱い、深く考察していく。		
試験・課題など	ペーパーが計四つ、授業内課題がいくつか、プレゼンが一つ		
感想を自由記入	フランケンシュタインや、ロビンソンクルーソーなど、名前は知っているが、読んだことのなかった作品を原作の言語で読むことができ良かったです。授業中に意見を募られる場面が多く、発言の苦手な私に取っては大変でしたが、教授がとても優しく、留学生だということも理解した上で励ましてくれました。作家背景から、映画バージョンまで、それぞれの作品をととても深く学ぶことのできる授業で面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Criticism		批評論
科目設置学部・研究科	English	
履修期間	1 semester	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	レクチャー(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に80分が2回	
担当教授	Professor Stacy Hubbard	
授業内容	短編小説や詩を読んだ上で、時代背景や作品描写についての批評家による考察を読む、また自身による考察も書く。	
試験・課題など	エッセイが二つ、試験が二つ、ショートライティングがいくつか	
感想を自由記入	リーディングがとて多く、毎回の授業についていくのは大変でしたが、学期を通して文学考察入門のテキストを読んだことで、これからの文学との接し方に良い影響を与えられたのではないかと思います。中間試験がとて難しく、時間が足りなくて解き終わることができなかつたのですが、教授が留学生だということを知って、最終試験時に、追加で時間を設けてくださり、良い結果を残すことができました。諦めずよかつたと思えた良い経験です。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Music and American Night Life		音楽とアメリカンナイトライフ
科目設置学部・研究科	Anthropology	
履修期間	1 semester	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	レクチャー(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に80分が2回	
担当教授	Professor Colter Harper	
授業内容	アメリカにおける様々な音楽ジャンルの誕生からの歴史やナイトライフ文化について学ぶ	
試験・課題など	ショートライティングが六つ、グループプレゼンが二つ、最終課題としてポッドキャスト収録	
感想を自由記入	様々な音楽ジャンルに触れ、人種問題や当時の経済状況とも合わせてアメリカ文化を学ぶことができ面白かつたです。ただ、求められることのレベルが高いことがしばしばあり、さらにグループワークがほとんどだったため、グループメンバーとコミュニケーションを上手く取ることが重要だと強く感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intruduction to Linguistic Analysis		言語学入門	
科目設置学部・研究科	Linguistic		
履修期間	1 semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Proofessor EunHee Lee		
授業内容	音韻論、音声学、意味論、統語論を全て扱い、言語学の基礎を学ぶ		
試験・課題など	小テストが三つ、課題が四つ、最終試験が一つ		
感想を自由記入	教授が毎回パワーポイントを公開してくれたため、復習がしやすく良かったです。ただ、週2回の授業のうち、一回は教授が授業をしてくれるのですが、二回目は TA による授業で問題の解説といった形であったため、授業だけでは理解度を高められないように感じました。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	留学制度について詳しく調べる、希望留学先大学を決める
	10月～12月	大学間協定留学プログラムへ応募、学内選考結果発表
留学開始年	1月～3月	TOEFL 受験、業務スーパー奨学金応募、パスポート取得
	4月～7月	ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、海外旅行保険加入、寮申し込み
	8月～9月	渡航、オリエンテーション、留学生 field trip
	10月～12月	秋休み(11月末)、期末(12月中旬)、冬休み(12月末～)
留学/帰国年	1月～3月	冬休み(~1月末)、中間試験(3月中旬)、春休み(3月末)
	4月～7月	期末(5月中旬)、帰国(5月末)
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

まず、アメリカを留学先を選んだのは、英語を学ぶにはやはり英語圏がいいと思ったのと、映画やドラマでよく見ていた世界だし、耳もアメリカ英語に慣れていたので。実際にアメリカに行ってみて思ったことは、意外とエンタメを通じてみることのできる世界と同じだということ、多文化社会とはいえど、人種ごとに固まることが多いため、文化の混ざり合いといったものはあまり感じられないということです。地域的な問題かもしれませんが、想像以上にアジア人はアジア人同士、黒人は黒人同士で集まるなど、意識している訳ではなくとも、自然と同じ人種でコミュニティを作るといった様子でした。また、UBを選んだ理由は、Media Study Departmentがあり、映画について学ぶことのできる環境であったからです。その点はとてもよく、本格的な撮影や編集を体験できたり、シアターの教室で映画を見ることができたり、と日本では中々ない授業を受けることができました。また、UBはとても大規模な大学であったため、キャンパスも広く、様々なイベントが開かれ、いわゆるアメリカンキャンパスライフを体験するにはピッタリでした。学期の始まりは特にイベントが多く、DJやアーティストが大学に来てパフォーマンスを行うのには驚きました。

滞在先の確保について話すと、UBは渡航7ヶ月ほど前に、最初の学内 Housing に関する案内が送られてきて、その時点で300ドルだけ支払い、寮の申し込みができるようになるという形でした。その約二ヶ月後に、再度案内が届き、そこでどの寮に申し込むかを本格的に検討し始めました。さらにその約二ヶ月後に、私個人の寮の部屋申し込み可能開始日が知らされ、その日以降にネットで申し込むという形でした。最終的には渡航一ヶ月半ほど前に寮が確定しました。この過程から分かる通り、滞在先の確保は割と早めに始まって、決定までに長い時間がかかりました。寮費や生活費の支払いはUBの場合、渡航前に払うことは無い、と何度も強調されました。秋学期分の支払い締め切りは、10月中旬、春学期分の締め切りは1月中旬でした。

寮生活は想像以上に大変かもしれません。私は予算的に4人部屋を選択しましたが、この人数となると、部屋で一人になることはまずほとんどないと考えていいと思います。また、部屋の構造も私の住んでいた Fargo quadrangle の場合、個人のエリアが四隅にある以外、視界を遮るものも何もなく、一つの大きな部屋で共同生活という形でした。クローゼットが別にあったので、収納の面で困ることはありませんでしたが、着替えや睡眠時など、慣れるまでは大変でした。幸い、ルームメイトには恵まれ、大きなトラブル無く過ごすことができましたが、特別ルームメイトと仲良くなれた訳ではありませんでした。寮内に限らず、大学全体的にあまり新しい友人を作るといった風潮はなく一人行動をする人も多くいたように感じます。友人を作るためという理由で寮生活を選ぶ必要はないかもしれません。ただ、仲良くなった人が寮生であると、時間や場所を気にすることなくラウンジなどで遊ぶことができるため、その点では寮がおすすめです。アパートメントを選んだとしたら、圧倒的に自炊がしやすかったと思いますし、プライバシーの問題もそこまで気にしなくてよかったかもしれないとは思いました。

勉強面では、渡航前に聞いていた通り、圧倒的にリーディングの量が多かったです。どんな授業でも毎回10～30ページほどの記事やテキスト、エッセイを読んでくれることが課されていました。大変でしたが、しっかり取り組むことで、授業に参加する際の自信も付きますし、間違いなく英語力の向上にもつながるため、モチベーションを保つことができました。思い出作りにも励みつつ、学習面でも全力を尽くすことで悔いのない留学生活にすることができるのではないかと思います。